

**製品名: グルタレドキシン-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11508**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	GLRX GRX
別名	Glutaredoxin-1 (Thioltransferase-1;TTase-1)
遺伝子 ID	2745.0
SwissProt ID	P35754
免疫原	ヒトグルタレドキシン-1 由来の合成ペプチド アミノ酸範囲: 8-58

**背景**

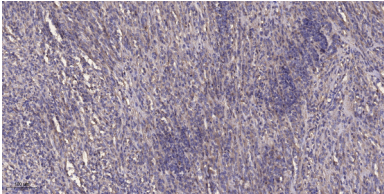
この遺伝子はグルタレドキシンファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、グルタチオン-タンパク質混合ジスルフィドの可逆的還元を触媒する細胞質酵素です。この酵素は酸化防御システムに大きく貢献しています。シグナル伝

達メディエーターのS-グルタチオニル化状態を制御することで、いくつかのシグナル伝達経路に重要な役割を果たします。βアミロイド毒性およびアルツハイマー病にも関与しています。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2011年8月]、機能: NADPH およびグルタチオン還元酵素存在下でグルタチオン-ジスルフィド酸化還元酵素活性を有します。低分子量ジスルフィドおよびタンパク質を還元します。類似性: グルタレドキシシンファミリーに属します。類似性: 1つのグルタレドキシンドメインを含みます。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。